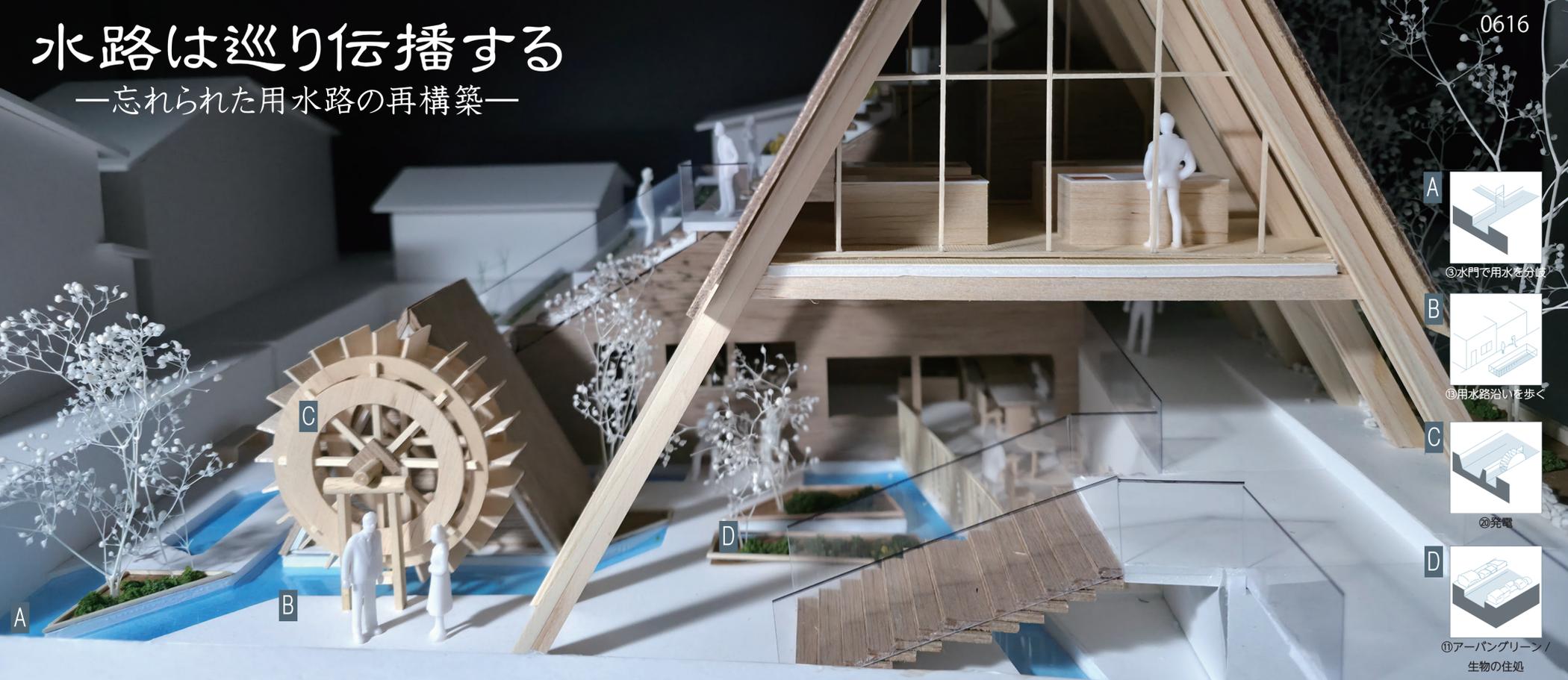


# 水路は巡り伝播する

## —忘れられた用水路の再構築—



③水門で用水を分岐

⑩用水路沿いを歩く

⑨発電

⑪アーバングリーン / 生物の住処

C 大人が集まる飲み屋街エリア  
飲み屋街が連なるエリアである。密集化した水路を開業化し水路を飲めながら飲用することができるように計画する。

B 暮らしが集まる住宅街エリア  
住宅部集約エリアである。小さな地域図書館を併設し、地域住民が気軽に集まり会話を開くことのできる会議室を配置する。

A 子供が集まる学校エリア  
小・中・高と学校が集まる教育エリアである。用水路を教育資源として積極的に活かす。

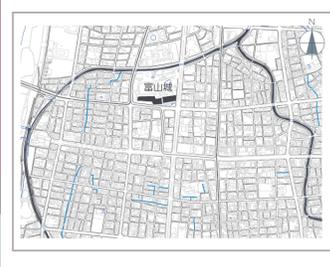
### 00 富山の現状



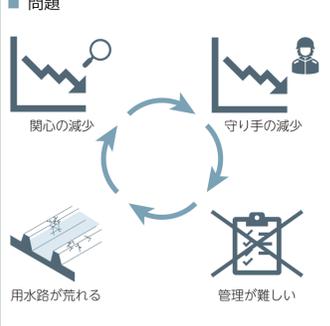
富山県は、三方を 3000m 級の急峻な山々に囲まれ、北は水深 1000m にも及ぶ深海へと急激に落ち込む富山湾に面している。また、そうした地形によって生まれた急流河川が発達して、いくつもの扇状地が形成されることで、広大な富山平野が築かれてきた。この地域は、古くから水とともに歩んできた地域である。立山連峰を水源とする雪解け水は、急峻な地形を縫うように川となり、まちを貫流しながら人々の暮らしに豊かな恵みをもたらしてきた。



暮らしの変化  
人々は長い年月をかけて川から水を引き、まちの隅々まで用水路を張り巡らせ、水とともに暮らし環境を築き上げてきた。これらの用水路は単なる生活インフラに留まらず、飲料水の確保、農業用水、防火用水としての役割を果たすだけでなく、人々の交流を生み、地域の風景や文化を形づくる重要な存在でもあった。



時代とともに上下水道が整備され、生活の利便性は飛躍的に向上した。蛇口をひねれば容易に水が手に入る現代において、かつて水を求めて川や用水路へ足を運んだ日常の風景は、次第に人々の記憶から、遠ざかりつつある。利便性の獲得と引き換えに水と人との距離、人々との距離までも変化していった。

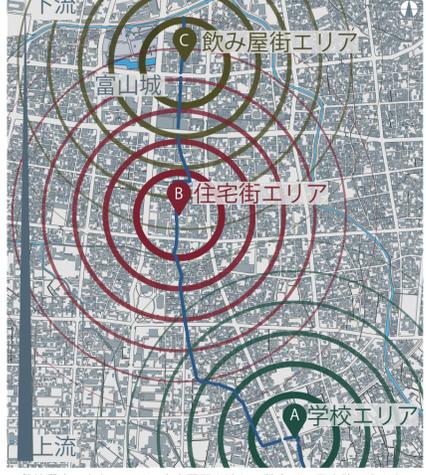


問題  
用水路の暗渠化が進み、さらに水路を守り続けてきた担い手の高齢化や減少によって管理が行き届かなくなること、水路は次第に荒廃している。その結果、人々の関心はますます薄れ、関わる人が減少し、景観や文化的価値が見逃されるようになっていくという負のスパイラルが生じている。こうした状況の中で、古くから地域の暮らしと密接に結びつき、大切に受け継がれてきた水辺の文化や風景は、静かに失われつつある。

### 01 用水路調査

<p><b>空間形成</b></p> <p>用水路の境界</p> <p>⑤道路と公園の間隙領域</p> <p>⑥自己表現の場 / 車道との分離</p> <p>⑦歩車分離</p>	<p><b>水との親水性</b></p> <p>水と触れる</p> <p>⑧用水路で遊ぶ</p> <p>⑨野菜を洗う</p> <p>⑩用水路沿いを歩く</p> <p>⑪用水路沿いに採出</p> <p>⑫生物の観察</p> <p>⑬用水路上で遊ぶ</p>	<p><b>環境保全</b></p> <p>地球温暖化防止</p> <p>⑭用水による発電</p> <p>⑮発電</p> <p>⑯発電</p> <p>生物の多様性</p> <p>⑰アーバングリーン / 生物の住処</p> <p>⑱魚道</p>	<p><b>水流</b></p> <p>用水の分岐・取水口</p> <p>⑲用水路が分岐</p> <p>⑳用水から庭へ</p> <p>㉑用水から貯水池</p> <p>㉒用水から用水</p> <p>㉓水門で用水を分岐</p> <p>㉔水門による水量の調整</p> <p>㉕水の高低差を緩和</p> <p>㉖用水を高低差で分離</p> <p>㉗水が流る</p> <p>㉘水の高低差を緩和</p> <p>㉙水の高低差で分離</p> <p>㉚水の高低差を緩和</p> <p>㉛水の高低差で分離</p> <p>㉜水の高低差を緩和</p> <p>㉝水の高低差で分離</p> <p>㉞水の高低差を緩和</p> <p>㉟水の高低差で分離</p> <p>㊱水の高低差を緩和</p> <p>㊲水の高低差で分離</p> <p>㊳水の高低差を緩和</p> <p>㊴水の高低差で分離</p> <p>㊵水の高低差を緩和</p> <p>㊶水の高低差で分離</p> <p>㊷水の高低差を緩和</p> <p>㊸水の高低差で分離</p> <p>㊹水の高低差を緩和</p> <p>㊺水の高低差で分離</p>
<p><b>建築・人工物との関係</b></p> <p>建物へ影響</p> <p>①用水路へみ出す</p> <p>②水門を守る小屋</p> <p>③用水路へ向く建物</p> <p>④水路を超える</p> <p>⑤用水路をまたぐ</p> <p>⑥階段を超える</p> <p>⑦穴の開いた道が起える</p> <p>⑧奥の田畑へ一本橋を造す</p>	<p><b>水の保全</b></p> <p>①水量調整</p> <p>②水量調整</p> <p>③水量調整</p> <p>④水量調整</p> <p>⑤水量調整</p> <p>⑥水量調整</p> <p>⑦水量調整</p> <p>⑧水量調整</p> <p>⑨水量調整</p> <p>⑩水量調整</p> <p>⑪水量調整</p> <p>⑫水量調整</p> <p>⑬水量調整</p> <p>⑭水量調整</p> <p>⑮水量調整</p> <p>⑯水量調整</p> <p>⑰水量調整</p> <p>⑱水量調整</p> <p>⑲水量調整</p> <p>⑳水量調整</p> <p>㉑水量調整</p> <p>㉒水量調整</p> <p>㉓水量調整</p> <p>㉔水量調整</p> <p>㉕水量調整</p> <p>㉖水量調整</p> <p>㉗水量調整</p> <p>㉘水量調整</p> <p>㉙水量調整</p> <p>㉚水量調整</p> <p>㉛水量調整</p> <p>㉜水量調整</p> <p>㉝水量調整</p> <p>㉞水量調整</p> <p>㉟水量調整</p> <p>㊱水量調整</p> <p>㊲水量調整</p> <p>㊳水量調整</p> <p>㊴水量調整</p> <p>㊵水量調整</p> <p>㊶水量調整</p> <p>㊷水量調整</p> <p>㊸水量調整</p> <p>㊹水量調整</p> <p>㊺水量調整</p>		

### 02 敷地選定



### 03 近隣のためのルール

施設を設計する上で近隣住民へ還元することのできる 9 つの共通するルールを設けた。

- 用水路の開渠化: 暗渠化している用水路を開き使用することができるインフラにする
- パッシブデザイン: 用水路の水をクールスポットや建物の冷却として等のパッシブデザインとしての活用する
- 風の通り道: 三角屋根の表面上部に開口部を設けることで換気を促進させる
- 配慮: 三角屋根にすることで近隣の圧迫感を抑える
- ランドマーク: この施設が用水路と関係が分かるようにする
- 防火・消火: 用水路の水を防火や消火として使用できるようにする
- 降雪: 軒先をできるだけ下げ通行への降雪を防ぐ
- 地域と用途: その地域にあわせて用途に地域に根付く施設とする

### 04 利用者のためのルール

施設を設計する上で利用者へ還元することのできる 9 つの共通するルールを設けた。

- 三角屋根: 農村地域で見かけた稲架掛け（はさかけ）を参考に三角屋根とする
- 構造: 豪雪地帯であるためトラス構造とし構造を補強する
- 下げる: 敷地の高さを下げ用水路と建物内部の一体感が出るようにする
- 寄せる: 建物と用水路に寄り添うように建物内部からでも用水路を感じられるようにする
- 軒下空間: 軒先空間に用水路や人の通り道を作り建物内部に親水エリアを設ける
- 雪の反射光: 積雪時に太陽光が反射し建物内部に差し込むようにする
- 緑への水やり: 緑への水やり用水路沿いに緑を植え用水路の水で水やりをする
- 回遊動線: 建物全体を回遊することができるよう計画する
- スキップフロア: 用水路に見立ててスキップフロアとして計画する

A 子供が集まる学校エリア：教育の場

B 暮らしが集まる住宅街エリア：コミュニティの場

C 大人が集まる飲み屋街エリア：大人の場

敷地：富山県富山市  
用：都市商業、食堂、料理研究  
構造：RC造  
敷地面積：504㎡  
地階床面積：59㎡  
1階床面積：58㎡  
2階床面積：37㎡  
延床面積：154㎡  
建築面積：203㎡

